



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月6日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証プライム市場
コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774) 44-4923
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,427	1.3	260	△25.5	271	△24.9	186	△29.9
2023年3月期第2四半期	3,384	△7.8	350	△53.1	361	△52.7	266	△50.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	7.28	—
2023年3月期第2四半期	10.23	—

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,421	9,881	79.6
2023年3月期	13,693	10,177	74.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,881百万円 2023年3月期10,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	6.8	2,000	△1.0	2,010	△5.0	1,394	△10.7	54.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	29,940,603株	2023年3月期	29,940,603株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	4,269,778株	2023年3月期	4,260,562株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	25,673,462株	2023年3月期2Q	26,050,247株

(注) 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類に引き下げられる等、社会経済活動が正常化し始め、景気回復の動きが見られました。一方で、原材料価格の高騰等による物価への影響から景気の先行きは依然として不透明であり、個人消費の本格的な回復は楽観視できない状況が続いております。

美容業界におきましては、美容室経営の二極化が進んでおり、多くの美容室では来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「女性は髪からもっと美しくなれる」というコーポレートスローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントの主力ブランド「コタ アイ ケア」を中心に美容室での販売を推進することで、多くの「女性のキレイ」を髪から応援しております。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」と「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

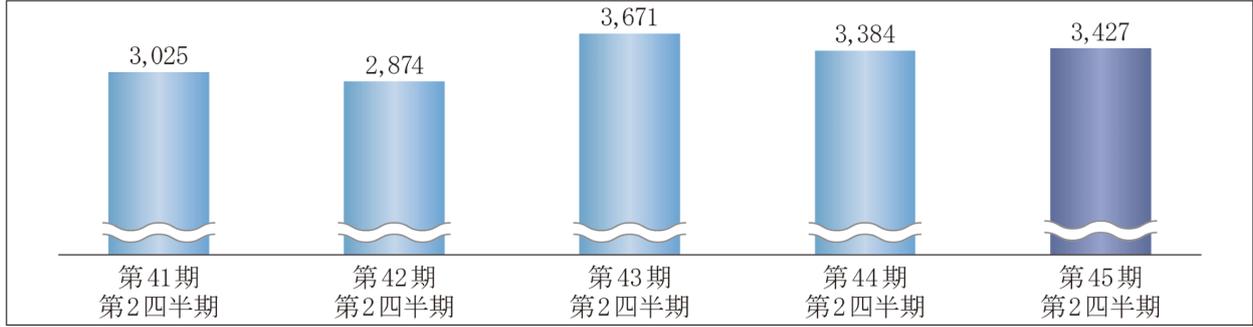
売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売が堅調であったことや、2023年5月に発売したトイレタリーと整髪料の新製品「コタエイジング バウンスアップ」の販売も好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収や原材料費の上昇等により増加、販売費及び一般管理費につきましては、人件費や減価償却費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,427百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は260百万円（前年同四半期比25.5%減）、経常利益は271百万円（前年同四半期比24.9%減）、四半期純利益は186百万円（前年同四半期比29.9%減）となりました。以下のグラフのとおり、第2四半期における業績は、コロナ禍の影響を大きく受けた第42期第2四半期や、トイレタリーのトップブランド「コタクチュール」を発売した第43期第2四半期等、各期によって増減しておりますが、当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期のウエイトが大きくなっているため、通期に対する影響額は小さいものと判断しております。

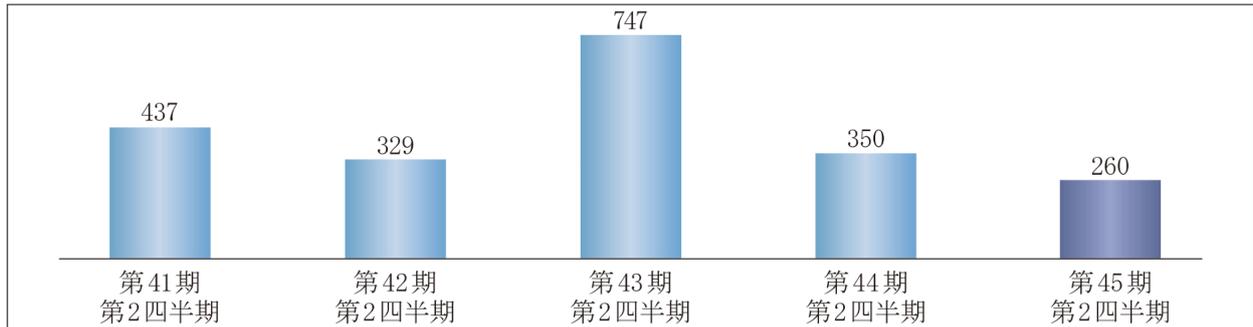
売上高

(単位：百万円)



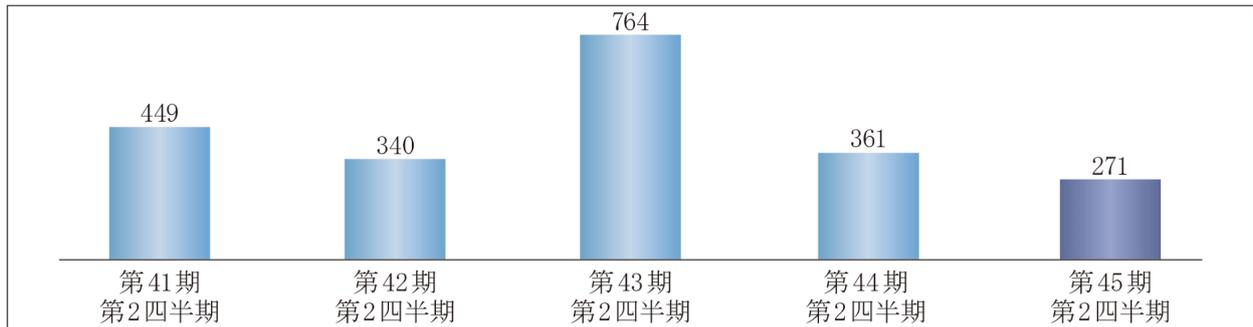
営業利益

(単位：百万円)



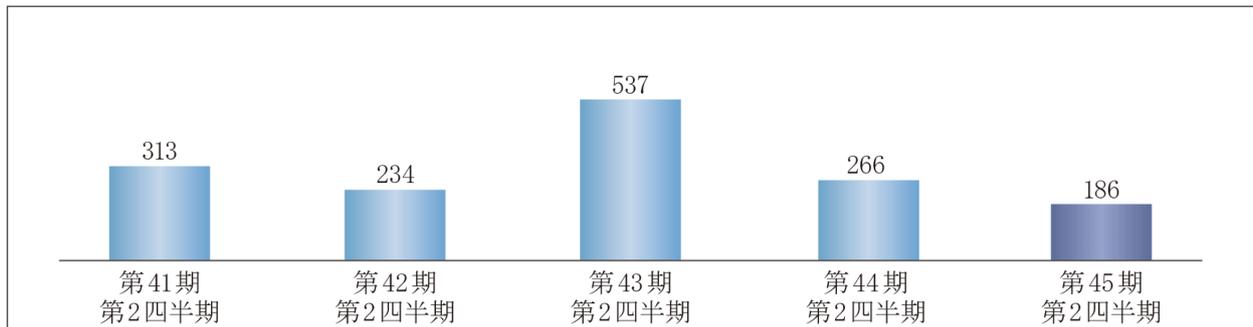
経常利益

(単位：百万円)



四半期純利益

(単位：百万円)



「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第43期の期首から適用しており、第41期第2四半期及び第42期第2四半期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

なお、当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	2,396	67.2	2,549	71.1	152	6.4
整髪料	622	17.5	665	18.6	42	6.9
カラー剤	144	4.0	119	3.3	△25	△17.7
育毛剤	288	8.1	156	4.3	△132	△45.9
パーマ剤	52	1.5	45	1.3	△6	△12.8
その他	59	1.7	51	1.4	△8	△14.1
小計	3,565	100.0	3,587	100.0	22	0.6
売上高控除	△180	—	△159	—	20	—
合計	3,384	—	3,427	—	43	1.3

当社は、2つのミッションである「世の中の美容室を一軒でも多く近代経営に導く」と「世の中の女性を一人でも多く髪から美しくする」を実現するために、トイレタリーの販売を中心とした「店販」を推進しながら、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング(コンサルティング・セールス)を展開することで、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレタリーの割合は、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から1,271百万円減少し、12,421百万円となりました。

主な要因としては、土地が638百万円、商品及び製品が358百万円増加し、現金及び預金が1,395百万円、受取手形及び売掛金が873百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から975百万円減少し、2,539百万円となりました。

主な要因としては、未払金が748百万円、未払法人税等が448百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から295百万円減少し、9,881百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が280百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、79.6%(前事業年度74.3%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より1,395百万円減少し、1,828百万円(前年同四半期比99百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、62百万円(前年同四半期は402百万円の減少)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益271百万円、売上債権の減少873百万円によるものであります。

支出の主な要因としては、棚卸資産の増加400百万円、法人税等の支払いによる支出502百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、977百万円(前年同四半期は744百万円の減少)となりました。

支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出1,069百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、480百万円(前年同四半期は443百万円の減少)となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出465百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期のウエイトが大きくなっております。

第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」ならびに「コタクチュール」を中心としたトイレタリーの需要増加を見込む一方で、人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を見込んでいることから、現時点において2023年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,224,210	3,828,300
受取手形及び売掛金	1,454,006	580,723
有価証券	150,000	50,000
商品及び製品	1,175,700	1,534,194
仕掛品	54,196	52,760
原材料及び貯蔵品	441,834	485,083
その他	167,239	79,678
貸倒引当金	△77	△21
流動資産合計	8,667,110	6,610,719
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,336,434	2,335,038
土地	1,312,039	1,950,625
その他(純額)	580,289	750,538
有形固定資産合計	4,228,762	5,036,202
無形固定資産	90,333	83,480
投資その他の資産	706,823	691,366
固定資産合計	5,025,919	5,811,049
資産合計	13,693,029	12,421,769
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,654	165,307
未払金	877,347	128,837
未払法人税等	543,078	94,812
賞与引当金	256,018	271,034
役員賞与引当金	—	20,152
その他	310,632	456,249
流動負債合計	2,157,731	1,136,393
固定負債		
退職給付引当金	241,132	230,823
役員退職慰労引当金	702,992	735,014
資産除去債務	242,560	260,310
長期預り保証金	171,200	177,260
固定負債合計	1,357,885	1,403,407
負債合計	3,515,616	2,539,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	642,351	642,352
利益剰余金	12,316,010	12,035,877
自己株式	△3,169,785	△3,184,808
株主資本合計	10,176,377	9,881,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,035	747
評価・換算差額等合計	1,035	747
純資産合計	10,177,412	9,881,968
負債純資産合計	13,693,029	12,421,769

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,384,603	3,427,881
売上原価	911,425	957,947
売上総利益	2,473,178	2,469,934
販売費及び一般管理費	2,123,029	2,209,088
営業利益	350,148	260,846
営業外収益		
受取利息	1,316	1,133
受取配当金	2,177	1,377
業務受託料	4,800	4,800
その他	5,797	6,471
営業外収益合計	14,092	13,782
営業外費用		
固定資産除却損	2,380	3,094
その他	638	195
営業外費用合計	3,018	3,290
経常利益	361,222	271,338
特別利益		
製品自主回収関連費用引当金戻入額	32,830	—
特別利益合計	32,830	—
税引前四半期純利益	394,053	271,338
法人税、住民税及び事業税	29,449	73,675
法人税等調整額	98,195	10,887
法人税等合計	127,645	84,562
四半期純利益	266,407	186,776

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	394,053	271,338
減価償却費	121,235	154,783
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△56
賞与引当金の増減額(△は減少)	△133	15,015
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	20,152	20,152
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,599	△10,308
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	35,265	32,021
製品自主回収関連費用引当金の増減額(△は減少)	△90,499	—
受取利息及び受取配当金	△3,494	△2,511
売上債権の増減額(△は増加)	780,853	873,283
棚卸資産の増減額(△は増加)	△440,913	△400,307
仕入債務の増減額(△は減少)	18,108	△5,346
その他	△798,321	△385,038
小計	37,910	563,026
利息及び配当金の受取額	2,415	1,617
法人税等の支払額	△442,423	△502,406
補助金の受取額	—	400
営業活動によるキャッシュ・フロー	△402,097	62,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△680,237	△1,069,915
無形固定資産の取得による支出	△26,386	△8,450
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
その他	△38,142	783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△744,767	△977,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△13,296	△15,023
自己株式の売却による収入	10	1
配当金の支払額	△429,158	△465,943
その他	△818	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△443,263	△480,966
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,590,127	△1,395,909
現金及び現金同等物の期首残高	3,319,221	3,224,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,729,093	1,828,300

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。